国保、2割の増税

医療費の増額で

国民健康保険の歳入歳出予算は一千六百五万余円で、前年度当初予算を約三百十一万円も上まわりました。

これは、みなさんが疾病したとき町で半額負担している医療費が二百六十万円も増額になったこと、新しい保険法にそつてことしの4月1日から助産費千円、育児手当千二百円、葬祭費二千円と今までの倍額を支給することになつたこと、診療所設置に関する支出金が少し上昇していることなどが要因です。

このため町では保険税を二割（百二十二万円）増税することになりましたが、結果的はみなさんの医療費にあてられることですから、円滑に運営ができるよう、特に納税にご協力下さい。

（厚生課）

農業共済事業

四月から町で行なう

甘楽町農業共済組合の共済業務が4月1日から町に移譲され組合職員8名は全員甘楽町職員となり、役場の二階（建設課のとなり）で仕事をすることになりました。

これは組合独自の運営を続けるより財政的にも、共済事業を向上し、農家に有利をもたらすためにもと、組合からの申し入れを3月21日の町議会で、受け入れ決定をしたものです。

この事業は、歳入歳出は特別会計とし、事業内容は以前と変わりありません。

農家のみなさん、今後も安心して農家経営ができるよう、この事業の育成にご協力くださいなお、移譲について組合と町のあいだに次のように協議決定がなされています。

一、組合財産の処理について

イ　組合の債権債務は組合において処理し、甘楽町は継承しない

ロ　組合の所有する什器は甘楽町に譲渡する

ハ　組合の所有する備品は甘楽町に譲渡する

二、組合職員について

イ　組合の職員は移譲とともに全員甘楽町職員として吸収する

ロ　甘楽町に吸収した職員は組合精算結了の登記が完了するまで組合職員として兼務を認める

三、移譲年月日　昭和35年4月1日を目標とする（移譲決定した）

四、この協議書記載外の事項について疑義を生じたときは、そのつど協議決定する

那須分校にテレビ

PTAが教材用に贈る

さる3月30日、那須分校にテレビが贈られました。寄贈者は同分校PTA会員（会長中野時一氏）百二十名です。

この那須分校は、役場から雄川の渓流に沿つてすすむこと九・三キロメートルという甘楽町の最奥地、百二十戸の那須部落の標高六百メートルの高地にあります。この那須部落は、伝説に那須与市の出生地といわれ、その昔、与市のお母さんが与市をを尋ねてきたときのお母さんのつえがさかさに根づいたというさかさ梅があり、そのほか伝説の多いところです。

教育に熱心なPTAの人たちは、このへき地の児童が他校からおくれぬようにとテレビを寄贈したのです。資本には、共有の畑地にコンニャクを栽培した二万五千円があつたが、なんといつても山間地、完成までには並ならぬ苦労があつたらしい。四百メートルも離れた裏山にアンテナを建て、中間にブスター（復像機）二カ所を設けたので受像機一基（17インチ）六万円のほか、施設費が七万六千円の多額にのぼつた。まつたく、理解ある会員の寄附金と、労力奉仕なくしては、分校のテレビの夢は雄川の清流につて、救われる日の早かれとねがいつつ流れ去つたに相違ない。

いま新学期を迎えた分校児童百三十九人は、「PTAのみなさんありがとう」と感謝しながら、テレビの映像をじつと見守つていることでしよう。

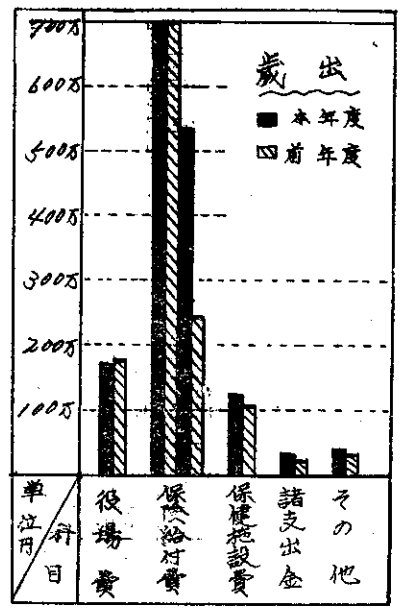
写真は贈られたテレビと寄贈者代表

特別会計

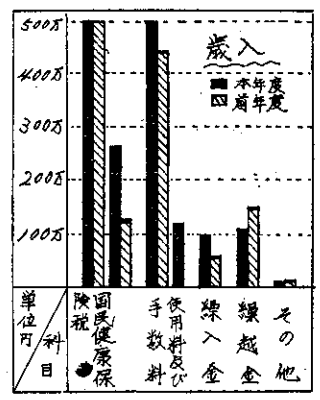
昭和35年度甘楽町国民健康保険歳入歳出予算

歳入 科目	予算額
国民健康保険税	7,632,100
産財収入	1,681
使用料及手数料	20,600
国庫支出金	6,195,100
県支出金	12,000
寄附金	100
繰入金	1,000,000
繰越金	1,117,000
雑収入	80,000
計	16,058,581

歳出 科目	予算額
役場費	1,719,546
保険給付費	12,327,500
保健施設費	1,254,650
財産費	1,681
公債費	10,840
趣旨普及費	20,000
諸支出金	344,000
予備費	380,364
計	16,058,581



前年度当初予算との比較



昭和35年度甘楽町特別会計農業共済事業歳入歳出

歳入 科目	予算額
農作物共済勘定収入	2,620,068
蚕繭共済勘定収入	7,727,165
家畜共済勘定収入	2,351,500
業務勘定	3,066,078
計	15,764,811

歳出 科目	予算額
農作物勘定支出	2,620,068
蚕繭共済勘定支出	7,727,165
家畜共済勘定支出	2,351,500
業務勘定支出	3,066,078
計	15,764,811

農業共済評価会委員18人決まる

4月1日から農業共済事業が町移譲になりました。そのはじめての農業共済評価会委員18人が、次のとおり決まりました。

（敬称略す）

氏名	住所	年令
吉田作平	上野	五九
松浦要	小幡	四六
茂原鳳一郎	〃	四七
黒沢長治郎	上野	五九
遠田佳男	国峯	四一
荻原軍太郎	善慶寺	五三
黒沢美雄	秋畑	四三
飯塚楠三郎	〃	五一
浅香堯春	〃	五二
黛貞太郎	〃	四〇
本郷敏夫	福島	四二
堀口順次郎	小川	五七
鈴木友吉	〃	五四
浦辺忠太	白倉	七〇
井上市郎	天引	四四
斉藤市造	金井	六七
長岡才次郎	造石	四四
吉田万吉	庭谷	六一

昭和35年度甘楽町小幡簡易水道歳入歳出予算

歳入 科目	本年度予算額
分担金及負担金	778,602
使用料及び手数料	423,600
繰越金	725,000
雑入	53,000
計	1,980,202

歳出 科目	本年度予算額
給水工事費	537,888
公債費	541,460
徴収費	23,000
諸支出金	805,000
予備費	72,854
計	1,980,202

昭和35年度甘楽町金井天引簡易水道歳入歳出予算

歳入 科目	予算額
使用料及び手数料	195,450
雑収入	100
計	195,550

歳出 科目	予算額
簡易水道維持管理費	18,600
公債費	163,200
諸支出金	12,750
予備費	1,000
計	195,550

国保被保険者の負担状況

科目	予算額	被保険者1世帯当り	被保険者1人当り
保険税年額	7,332,000	3,200	586
保険給付費	12,327,500	5,383	986

国保事務職の（5人）　1人に対する世帯数458　被保険者数は2,500人

上野へ電話二本四月中にはいる

電話が一つもない大字上野では去年から公衆電話を入れようと関係方面へねがいを出していたが、申し込み4本のうち、次の2本が4月中に架設されることになりました。

◎赤電話一　坂戸の土屋伝次郎さん方へ。

◎黒電話（共同制）一　今宮の田中三郎さん方へ。

昭和35年度の国保予算診療施設勘定

昭和35年度予算診療施設勘定は、歳入歳出二百五十万二千七百円で、前年度当初予算より十七万七千六百円の増となつています。これは施設費の増額によるもので、他の科目はあまり変動はありません。

税、ことしの納期

昭和35年度の町税等の各納期は、前年同様、次のとおりですいまから納税の計画をたて、期限内に完納できるよう心がけましよう。

○固定資産税　6月、7月、9月、11月

○町民税　6月、8月、10月、12月

○軽自動車税　4月

○国民健康保険税　4月、6月8月、10月、11月、1月

○小幡簡易水道料金　5月、8月、11月、2月

中学卒業生の動向

ことしの甘楽町内四つの中学校卒業生は男百五十九人、女百六十二人、計三百二十一人で、うち進学は男五十人、女四十九人です。就職は百六十七人（男八十六人、女八十一人）で、うち県内七十一人、県外八十九人となつており、町内就職者が男女合せてわずか十七人はさびしく、一考を要します。また県外就職者中、男六十二人に対し女二十七人は、女子を遠く離したくない親心として当然。

3月の明暗

◉出生

住所	子供		父	続柄
福島	野中	和好	久雄	長男
小幡	小沢	むつ美	芳男	長女
上野	山本	美津子	金作	長女
白倉	大河原	勅江	秋良	長女
小幡	山田	信幸	守	2男
小幡	田村	信夫	武雄	2男
小川	松井	利二	浅吉	2男
轟	田村	真由美	益男	長女
小川	橋	悦子	通公	長女
轟	柴山	道男	美芳	長男
上野	黒沢	ひろ美	光夫	長女
轟	松井	良江	勝見	長女
国峯	高麗	美智代	博	長女
小川	藤巻	比呂美	信春	2女
白倉	野中	きく江	竹次	3女
上野	吉田	京子	要作	2女
上野	田村	美春	勝美	長女
轟	時沢	秀明	清	長男
秋畑	浅香	靖子	貞義	2女
秋畑	桐生	恵子	菊蔵	長女
秋畑	塚飯	徳美	仲治	2男
秋畑	松井	美晴	朝夫	3女
秋畑	黒沢	寿美代	茂男	2女

◉婚姻

上野	青木	伴次	黒岩の	人と
小幡	松井	吟子	片山の	人と
轟	山田	セツ	高崎の	人と
国峯	斉藤	富士美	岩崎の	人と
小幡	堀口	正二	福島	山田克代と
国峯	田村	くら	安中の	人と
天引	鈴木	明美	白石の	人と
轟	松井	朝雄	黒岩の	人と
小幡	新井	たま江	野殿の	人と
白倉	大工原	正司	田篠の	人と
小幡	瀬間	幸一	天引	小柏やすと
小川	堀口	園枝	田篠の	人と
小幡	野本	佐和子	高崎の	人と
庭谷	小幡	なみ子	片山の	人と
造石	黒沢	けん	片山の	人と
福島	原	仁子	高尾の	人と
庭谷	桜井	辰	吉井の	人と
小幡	山田	淑江	富岡の	人と
福島	和田	信政	小幡山田	さ江と
秋畑	横尾	ニシ子	埼玉の	人と
秋畑	桐生	久作	秋畑田村	邦子と

◉死亡

上野	由田	かめさん	78
小川	深沢	興十八〃	74
金井	三木	つる〃	79
上野	田中	よみ〃	66
白倉	野口	二郎〃	64
小幡	佐藤	とみ〃	78
轟	柴山	たの〃	76
上野	吉田	一郎〃	60
福島	金田	マサ〃	80
善慶寺	結城	ふぢ〃	57
福島	伊藤	重雄〃	19
天引	堀口	すみ〃	65
金井	三木	せう〃	83
白倉	吉田	好一〃	62
秋畑	黒沢	政文〃	3
秋畑	松井	いの〃	84